

令和8年度 第1回
柏市教育福祉会館（ラコルタ柏）
運営協議会_資料

■日時

令和8年8月17日（月）
午後2時～4時

■場所

ラコルタ柏 4階 集会室

目次

委員名簿	P. 3
出席職員名簿	P. 4
次第	P. 5
議題（１）前回の振り返り	P. 6
（２）令和８年度事業計画及び実施状況	P. 8
（３）教福連携事業について	P.1 5
事務連絡	P.2 0
参考資料 ラコルタ柏 貸室の稼働率	P.2 1

委員名簿

五十音順, 敬称略
令和8年8月現在

役職	氏 名	所属等
	赤 松 夏 子	柏ドリーム手話ソング
	伊 藤 嘉 章	柏市立富勢中学校校長
	岩 立 和 男	柏市柏中央地域ふるさと協議会会長
副会長	岩 永 牧 人	柏市地域生活支援センター所長
	金 子 洋 子	柏市民生委員児童委員協議会副会長
	坂 上 彩 子	ママパパBOUSA I ライフ代表
	杉 山 協	公募委員
	丹 間 康 仁	国立大学法人 筑波大学 人間系教育学域 准教授
会長	堀 内 美穂子	学校法人江戸川学園 江戸川大学 社会学部人間心理学科 教授
	森 雅 貴	特定非営利活動法人イシュープラスデザイン ディレクター

御欠席

出席職員名簿

所属	役 職	氏 名
福祉部	部 長	矢 部 裕美子
福祉部 福祉政策課	課 長	宮 脇 護
生涯学習部	部 長	宮 本 さなえ
生涯学習部 生涯学習課	課 長	田 中 義 通
生涯学習部 中央公民館	館 長	橋 爪 佳 子

事務局

- ・ 福祉部 福祉政策課
- ・ 生涯学習部 中央公民館
- ・ 柏市社会福祉協議会

次第

- 1 開会挨拶
- 2 議題
 - (1) 前回の振り返り（報告）
 - (2) 令和 8 年度事業計画及び実施状況
 - (3) 教福連携事業について
- 3 事務連絡
- 4 閉会挨拶

2 議題(1) 前回の振り返り(報告)

NO	ご意見	進捗状況等
1	総合福祉センターのイベントについて、働いているママ・パパは平日に地域とつながる機会がない。同世代や上の世代との交流のために土日や祝日にも開催して欲しい。	団体や企業からの提案企画では、相手方の都合等により平日開催となることもありますが、社会福祉協議会が主催のイベントでは、夏休みや春休み期間に「縁日」や「文化祭」をテーマに休日にイベントを実施しております。今後も引き続き、平日・休日いつ来館しても参加できるイベントがある館を目指してまいります。
2	中央公民館のコミュニティリンクワーカー養成講座等、社会福祉分野にも共通する事業については、担当所管がその分野だけを見るのではなく、「相互乗り入れ」で検証して欲しい。	コミュニティリンクワーカーの社会的ニーズがますます高まっていることから、引き続き、事業展開を図ってまいります。令和8年度においては、館内での連携に留まらず、外部のNPO法人等を新たな活動の受皿として連携を実施し、「福祉分野への波及効果（相互乗り入れ）」をより広げられるよう今後も引き続き、事業を推進してまいります。
3	中央公民館事業について、事業をラコルタ柏内に留めず、近隣センター等と連携し地域へ展開していくことが重要である。また、よりスムーズに議論や事業展開を進めるため、近隣センター所管部署とも密に連携を図りながら進めてほしい。	現在、生涯学習部では「誰もが学び続けられるまち」を目指し、近隣センター等の身近な施設を会場として、将来の進路や職業に興味を持ち始める中高生と、ライフステージや心身の変化に伴い新たな分野に関心を持つミドルエイジを対象に、世代ごとの興味や生活スタイルに合った講座を開催することで、誰もが学ぶ楽しさを感じられ、学びを通じて人が育つ環境づくりを進めることを計画しています。併せて、学びを通じた地域づくりについて関係部署間の役割分担と連携、意識合わせをするため、生涯学習部、市民生活部、社会福祉協議会で話し合いを進めています。

2 議題(1) 前回の振り返り(報告)

NO	ご意見	進捗状況等
4	ラコルタ柏フェスティバルについて、参加団体は実行委員会への出席負担が大きい。例えば当日だけの参加を可能にする等、より気軽に参加できる実施方法を検討してほしい。	参加団体の負担を減らすため運営を大きく見直しました。参加団体は基本的に「当日支援のみ」とし、実行委員会（13名）が企画・広報を専任。昨年度の1日半開催から「1日開催」へ変更。その他、ラコルタ柏コーディネーター枠や事務局企画枠を新設し、締切後も柔軟に参加を受付。これらの見直しにより、参加団体数が31団体（昨年度22団体）へ増加しました。

2 議題(2) 令和8年度事業計画及び実施状況

令和8年度事業・イベント 年間予定及び実施回数(令和8年6月末現在)

項 目 [中央公民館]	年間 予定	実施 回数
<u>生涯学習事業</u>		
①生涯学習講座	2 4	8
②自主活動・地域 活動支援講座	1 6	6
<u>ラコルタ柏交流事業</u>		
①講座型	1 3	0
②イベント型	2	2
③通年型・しかけ づくり	7 0	1 9
合計	1 2 5	3 5

項 目 [総合福祉センター]	年間 予定	実施 回数
多世代交流	7 3	2 4
子育て	5 0	1 1
児童健全育成	1 6	1
フレイル予防	1 4	4
障害理解・支援	2	0
居場所・相談支援	1 2 8	3 4
ボランティア育成	1	0
展示	5	3
合計	2 8 9	7 7

2 議題(2) 令和8年度事業計画及び実施状況

令和8年度事業計画・中央公民館

概要

令和6年度から従来の年齢等による事業区分ではなく生涯学習として一本化し、ラコルタ柏交流事業との2つの事業区分で展開しています

区分	ねらい	講座名／型	想定する講座や内容
生涯学習事業	第4次柏市生涯学習推進計画改訂版で示される柏市が目指す生涯学習像 「知の交流を通じて人と地域のウェルビーイングを実現するまち柏」を推進する	生涯学習講座	・スマホの基本【2事業者12回(6月～12月)】＜中央公民館，新田原・永楽台近隣センター＞ ・夏休みこども教室【9講座(7月27日～8月7日)】 ・伝統工芸染め物体験【2回(11月5日，12日)】 ・沖縄民謡とリズム体験【1回(11月26日)】
		自主活動・地域活動支援講座	・ファシリテーター養成・実践ワークショップ【3回(8月)】 ・学校支援ボランティア（豊四季台地域）【未定】 ・地域課題解決（高柳地域）PCMワークショップ，ワークショップ反映講座【12回(5月～3月)】 ・まちを歩いて地図にする【1回(4月)】＜中央公民館，布施地区＞ ・動画チームMitene【通年】
ラコルタ柏交流事業	ラコルタ柏のコンセプト 「誰もが集える みんながつながる 地域へ広がる」の実現のため，交流の継続やコミュニティ形成を目指し，集いのきっかけづくりやしきみづくりを意識して，教育と福祉の融合による講座等を交えながら事業展開を図る	講座型	・もしバナ+哲学対話de考える人生【1回(10月10日)】 ・ガーデナー養成講座【3回(11月～12月)】 ・コミュニティリンクワーカー養成講座【未定(12月～R8.1月)】 ・カフェボランティア講座【5回(11月～12月)】 ・アートマネジメント講座【4回(1月～2月)】
		イベント型	・ラコルタ柏フェスティバル【1回(11月15日)】 ・わくわく人形劇まつり【1回(11月22日)】
		通年型・しかけづくり	・ホワイトボード交流事業【30回(通年)】 ・えがおのBUTUBUTU交換【4回(6月～2月)】 ・お昼に届けるminiライブ【12回(通年)】 ・館内装飾ワークショップ【12回(通年)】 ・ラコルタ柏ガーデニング【12回(通年)】 ・ぬり絵体験【毎日・通年】 ・学習スペース設置事業【毎日・通年】

2 議題(2) 令和8年度事業計画及び実施状況

【中央公民館・活動実績①】 地域課題解決(高柳地域)

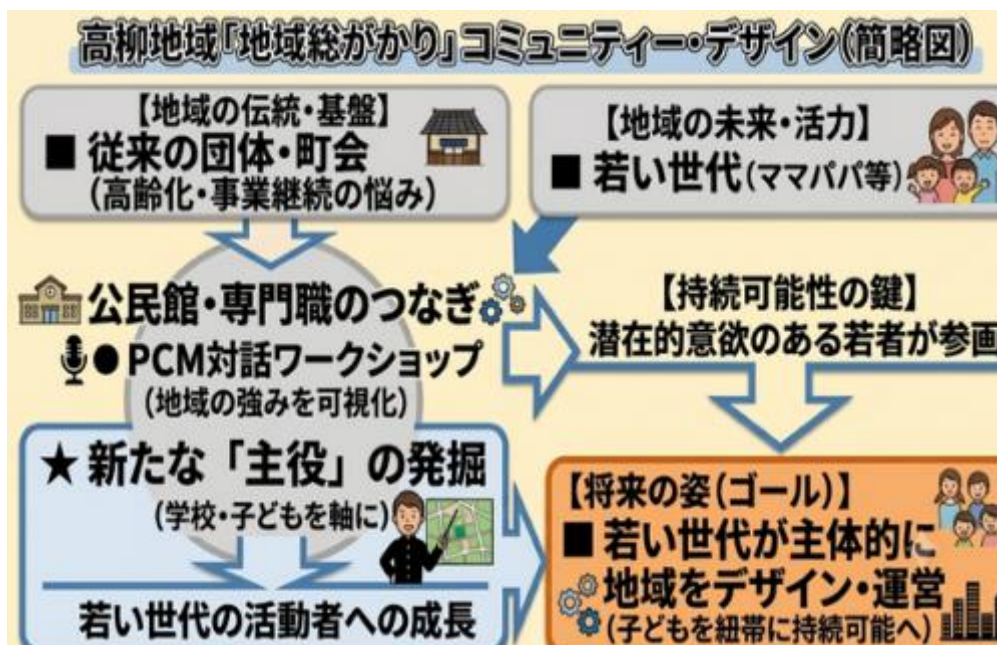
実施のねらい

かつて高柳地域は地域活動を主体的に行うモデル地域であった。今現在も活動は続いているが、メンバーの高齢化などの理由で継続が難しいとの相談が上がってきている。

今年度、関係者からのヒアリングを行い現状と課題を抽出しはじめた。今後、PCM手法を用いたワークショップを行いながら、地域づくりを行う伴走支援を進める。

活動の結果 (R8年6月末時点・実施中)

実施回数 6回 (全11回予定)



活動の成果 (参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

【わかったこと】

・現在、関係者からのヒアリングを実施中。従来の進め方には限界があるとの証言が多く、従来型の組織のあり方への抵抗感が強いことや、学校の先生の働き方改革による地域との関わり方の変化などがある一方、若い世代が自主的に地域活動を行う兆しもあることが分かった。

【ヒアリング対象者の反応】

・従来のあり方にこだわっている訳ではなく、むしろ新しい形の世代交代を望んでいると感じた。

【やって見えたこと】

・今後、地域で関係者との対話を重ねることにより、新しい形が生まれる可能性を感じている。

2 議題(2) 令和8年度事業計画及び実施状況

【中央公民館・活動実績②】 ガーデニング講座・ラコルタ柏ガーデンの会

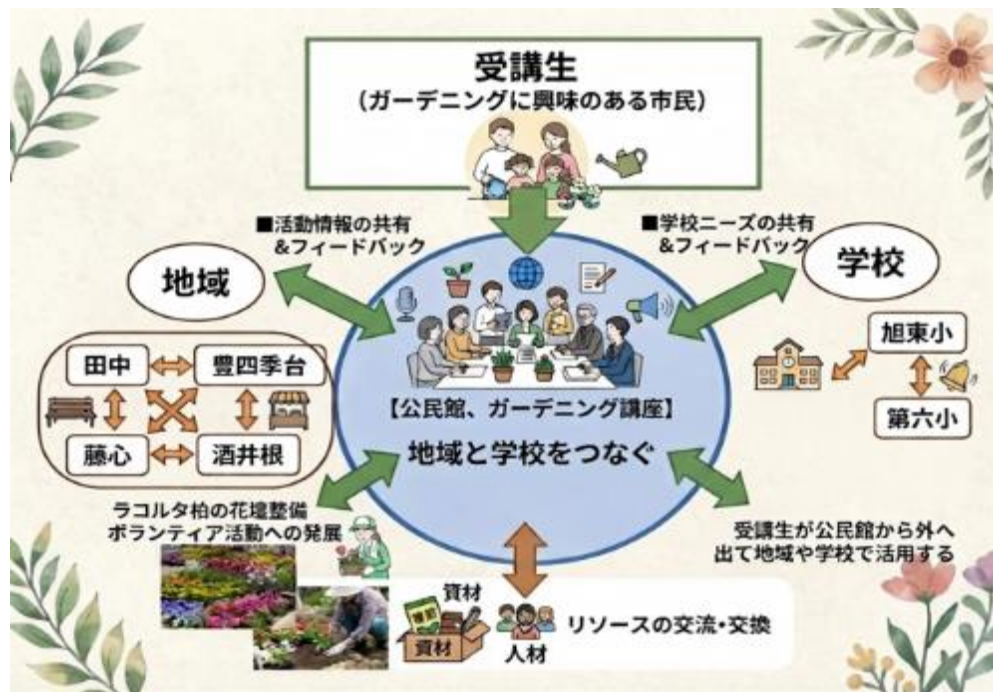
実施のねらい

ガーデニングに興味のある方を対象に講座を開催。受講をきっかけに講師や受講者間の交流が育まれ、公共施設の花壇整備ボランティアに発展した事業。

さらには、この受講生達が地域へ戻り、田中、豊四季台、藤心、酒井根などの地域へ羽ばたき、地域活動に自主的に参加していくまでになった。公民館事業として継続していきたい事業である。

活動の結果 (R 8 年 6 月末時点・実施中)

実施回数 3 回 (全12回予定)



活動の成果 (参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

【わかったこと】

- ・ガーデニング講座がはじまりであったが、公民館がハブとなることで、講師と受講者、地域と受講者、地域と地域をつなげ、その後の地域や学校での地域活動に受講者が自主的に参加することにつながった。
- ・また、地域や学校での活動の情報を公民館がハブとなり双方向に伝えることにより、各地域間での不足する種苗や資材、人材の交流が生まれている。
- ・これらの講座・活動を通じ、潜在的に地域活動に興味のある方は一定数いることがわかった。

2 議題(2) 令和8年度事業計画及び実施状況

令和8年度事業計画・総合福祉センター

概要

個人や団体からの提案により、障害の有無・性別・世代を超え、誰もが参加できるイベント、講座、相談・居場所について、企画運営をしています。また、孤独・孤立などの課題を抱える方に対し、社会参加や活躍の機会提供等コーディネートを行っています。

区分	ねらい	講座や内容
多世代	対象を問わない参加・交流	ぶれぜん～自由な気持ち～、ゆるピラヨガ、ラコルタ縁日、おむすびの会、チョークアート等
妊娠・子育て	子育てに係る学び、親子同士の交流	すくすくタイム、絵の具であそぼう、保育園入園準備、おさがり交換会、救世主おやつ作り等
児童健全育成	主として小中高生対象に、進路や将来目標につながる学習や体験	中学生限定ゲームコミュニティ大会、テレビの舞台裏ニュース体験、撮り旅～集まれ未来のクリエイター～等
シニア・フレイル予防	スポーツや文化（IT関係含む）などのイベントを通じたフレイル予防	スマホ相談会、更年期からの骨盤底筋ヨガ、パソコン活用、紙の写真からアルバム作り等
障害理解	イベントを通じた、障害の理解をはじめ、当事者との交流	親子で高齢者疑似体験、文字を声で届けよう～音訳体験～
人材育成	ボランティア活動につながる講座や体験	只見宿泊体験ボランティア
居場所・相談支援	福祉ニーズを抱えた当事者や家族などが気軽に参加・利用できる居場所や相談	サロンかしわっ葉、手話カフェ、うつ病当事者家族会、就労支援プログラム、出張みずたま相談室
展示	絵などの作品披露の場、来館者への施設（空間）の彩り提供	絵、写真、習字等の展示

2 議題(2) 令和8年度事業計画及び実施状況

【総合福祉センター・事業紹介①】 Summer Event

実施のねらい

サマーイベントは、主に若者の社会参加支援の一環として実施しています。

多様なイベントを通じて、興味・関心に合うものを見つけ、「挑戦する」「未来を考える」「社会とつながる」「地域を知る」きっかけをつくることをねらいとしています。また、学校以外にも安心して行ける場所や、地域の中で人と関わる機会があることを伝える場として実施します。

活動の結果（実施中）

個人、団体、企業等が企画提案しイベントを開催

- ・開催数：44
- ・連携団体数：62
- ・実施期間：7月18日(土)～8月31日(月)まで
- ・実施場所：ラコルタ柏全館、BeARIKA、福島県只見町等
※提案団体等からの希望による



EVENT LIST		
日時	内容	申込
7.18 土	きなきの会	13:00-15:30 M ともたけ
7.18 土	おしわ東口カフェ22	10:00-12:00 M ともたけ
7.18 土	プレパークから学ぶ こどもの環境作り	9:30-12:00 M ともたけ
7.18 土	ゆれて可愛い 100チャート教室	14:00-15:00 M ともたけ
7.18 土	ママにメーク! お仕掛け	11:00-13:00 M ともたけ
7.18 土	ひきこもり支援の会 「しほのさくら」	14:00-17:00 M ともたけ
7.18 土	アロマリラックスヨガ	10:00-12:00 M ともたけ
7.18 土	あえーるテラス企画会議 みんなの力で 未来を叶えよう	14:00-15:00 M ともたけ
7.18 土	絵を使って 絵がアートを作ろう!	13:30-15:30 M ともたけ
7.18 土	中学生限定 ゲーム＆ミニゲーム大会	14:00-16:00 M ともたけ
7.19 日	こころと身体を繋げる アロマ香体作り	14:00-16:00 M ともたけ
7.19 日	サロシカしわっ	11:00-15:00 M ともたけ
7.19 日	お花屋さん体験 夏のお花づくり	10:30-11:30 M ともたけ
7.19 日	ゴールでピラティス 夏Bodyづくり	10:00-11:00 M ともたけ
7.19 日	生きづらさを抱えた 若者の環境作り「ふらっと4U」	10:00-16:00 M ともたけ
7.19 日	絵がもたらす 「かたつむり」	10:00-14:00 M ともたけ
7.19 日	アロマリラックスヨガ	10:00-12:00 M ともたけ
7.19 日	あえーるテラス企画会議 みんなの力で 未来を叶えよう	14:00-15:00 M ともたけ
7.19 日	絵を使って 絵がアートを作ろう!	13:30-15:30 M ともたけ
7.19 日	中学生限定 ゲーム＆ミニゲーム大会	14:00-16:00 M ともたけ
7.20 月	うつ病当事者、家族会	13:00-15:00 M ともたけ
7.20 月	終活講座「死ぬ」のぞみ	10:00-12:00 M ともたけ
7.20 月	10代向けの職場 「はつとカフェ」	13:30-16:00 M ともたけ
7.20 月	ノートパソコンで 世界地図をクラウドしよう	12:00-13:00 M ともたけ
7.20 月	障がい児子育てサロン 「はつと」	10:00-11:00 M ともたけ
7.20 月	文字を声で聞けよう ～音読体験～	13:30-15:30 M ともたけ
7.20 月	We are あんだんて ANDANTE	18:00-20:00 M ともたけ
7.20 月	みんなでやろう かんたんデザイン入門	13:30-16:00 M ともたけ
7.20 月	ブックモデル ワークショップ	13:30-15:30 M ともたけ
7.20 月	DIVE ～みんな集まれ～	14:00-16:00 M ともたけ
7.20 月	AIで簡単に 楽しく作図体験	14:00-16:00 M ともたけ

活動の成果（参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと）

- 【参加者にとって】 イベント参加をきっかけに、進路や将来について考え、自分なりの一歩を踏み出す機会となった。
- 【提案者にとって】 対象を広げたイベントに挑戦することで、活動の視点や可能性が広がった。
- 【見えたこと】 新たな取り組みは、若者と提案者、地域との間に新たな縁やつながりを生み出すきっかけとなる。
- 【わかったこと】 社会参加の機会とは特定の人だけでなく、誰にとっても必要であり、多様な入口を用意することが大切である。

2 議題(2) 令和8年度事業計画及び実施状況

【総合福祉センター・事業紹介②】 あ・えーるテラス 企画会議

実施のねらい

あ・えーるテラスは、ただ過ごすだけでなく、「何かやってみたい」という気持ちを大切に、その一歩を応援します。毎月第3水曜日には「企画会議」を開催し、一人一人のやってみたいを実現するために、利用者みんなが役割をもって企画実施ができるような話し合いの機会を作っています。この場所での経験が次のステップへ進む力になることを目指しています。



活動の結果 (R8年6月末時点・実施中)

企画会議で生まれた実践イベント数：R7年度10件 R8年度2件

【イベント例】

R7.6.20「DJイベント」参加数：25名

内容：音楽をツールに人とのつながりをつくる

R7.12.13「義足体験」参加人数：69名

内容：パラアスリートや義足技師による疑似体験を通して障害理解を促す

R8.6.15「ぶれぜん 私の講義」参加数：14名

内容：伝えたい思いをみんなの前で発表し、小さな一歩（自信）につなげる



活動の成果 (参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

不安や悩みから、これまで一歩を踏み出せなかった方々が、「少しやってみよう」と思えるきっかけを得ることが、社会参加への大きな第一歩になることが分かりました。

安心できる環境や人とのつながりの中で、小さなチャレンジを重ねることで、自己肯定感が高まり、自分の可能性に気づく姿を目にしてきました。

こうした変化は、次のステップに進もうとする力につながっており、支援の重要性をあらためて実感しています。

2 議題(3) 教福連携事業

ラコルタ柏フェスティバル開催に向けた進捗報告

実施のねらい

- ・ラコルタ柏において、各種取組を行っている団体やサークル等が一堂に会して日頃の活動成果や作品などを発表し、来場者に団体活動のPRを行う。
- ・団体の主体性を高めるとともに、団体同士の交流を図る。

開催予定

令和8年11月15日(日)



準備状況(実行委員会活動内容)

- *今年度から参加団体と実行委員を別々に募集
- *参加団体31団体(昨年度22団体)、実行委員13名
- *これまで1日半開催であったものを、1日開催とし内容を凝縮

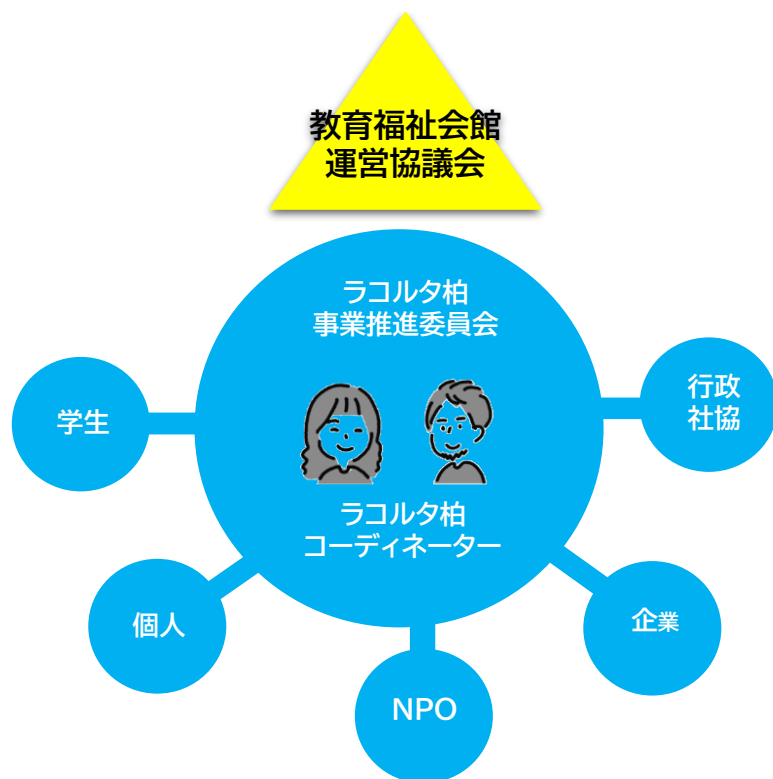
- 6月21日(日) 第6回ラコルタ柏フェスティバル第1回実行委員会(以降随時開催)
- 7月25日(土) 第6回ラコルタ柏フェスティバル第1回全体会(参加団体・実行委員)
- 10月24日(土) 第6回ラコルタ柏フェスティバル第2回全体会(参加団体・実行委員)
- 12月12日(土) 第6回ラコルタ柏フェスティバル第3回全体会(参加団体・実行委員)

2 議題(3) 教福連携事業

ラコルタ柏事業推進委員会(JSI)について

ラコルタ柏の目指すもの

様々な市民が集い、つながり、地域へひろがり
市民による自立的な地域活動による
地域共生社会の実現



<教育福祉会館運営協議会>

- ・ 条例で定められた附属機関であり、承認機関
- ・ 生涯学習及び地域福祉の有識者・地域づくり団体などで構成
- ・ 大所高所からのアドバイス
- ・ 運営内容のチェック機能

アドバイス・チェック機能

報告・成果確認

ラコルタ柏事業推進委員会

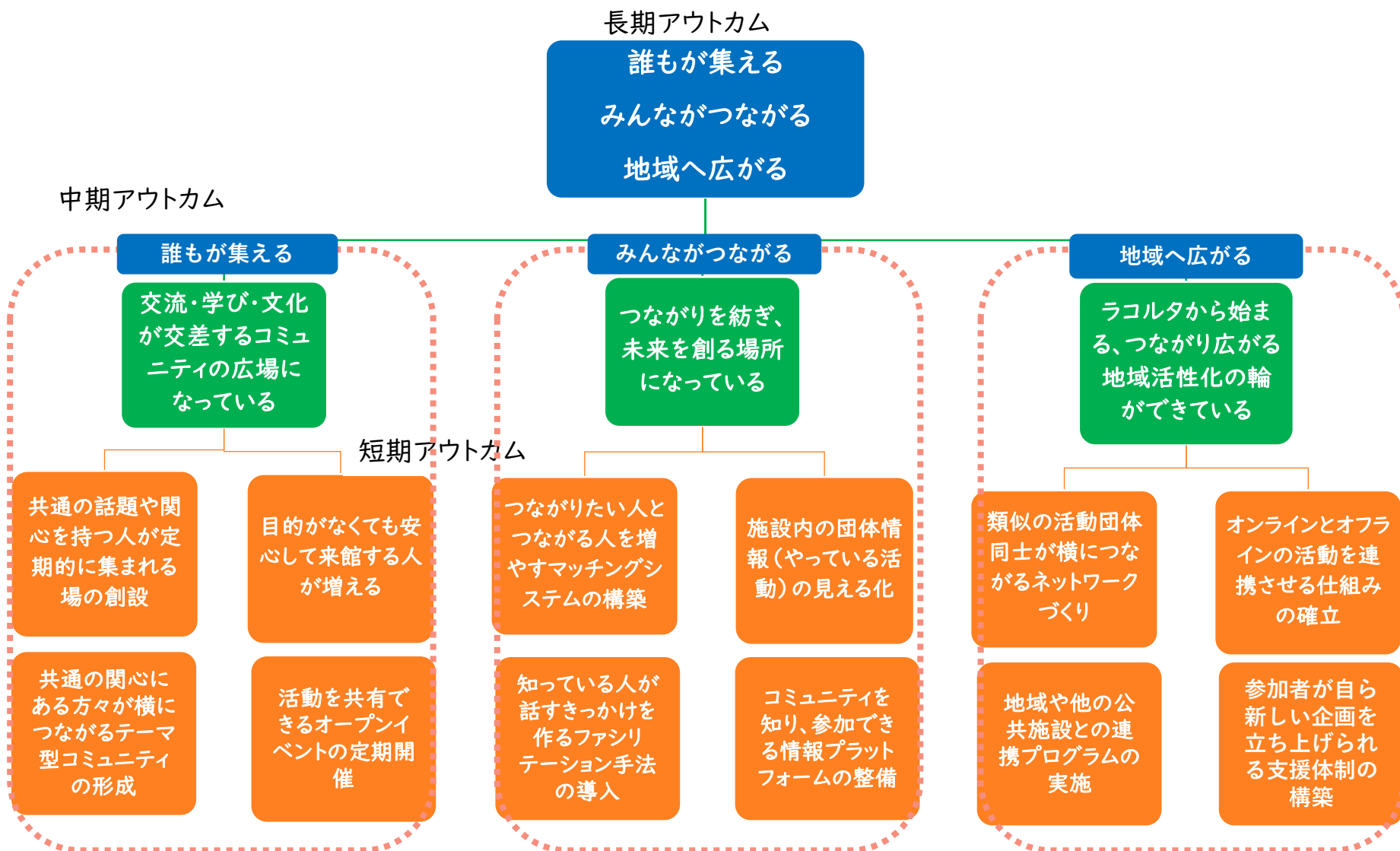
- ・ 中間支援者としてラコルタ柏コーディネーターが運営
- ・ ラコルタ柏の「目指す状態」に近づけるために、ロジックモデルを作成し、アクションを企画提案
- ・ アクションに必要なステークホルダーが集まり、実施

ラコルタ柏コーディネーターの役割

- ・ 事業推進委員会におけるテーマの設定及び参加者の決定等、会の運営
- ・ 市民と行政、市民とラコルタ柏をつなぐ役割
- ・ 生涯学習と地域福祉の接着・融合を期待
- ・ 事業の企画
- ・ 生涯学習・地域福祉のニーズの把握
- ・ 市社協を始めとし、ラコルタ柏の中間支援組織を増やす
- ・ ラコルタ柏の小さな主人公を増やす
- ・ 情報発信
- ・ 各団体の活動相談窓口(コンシェルジュ業務)

2 議題(3) 教福連携事業

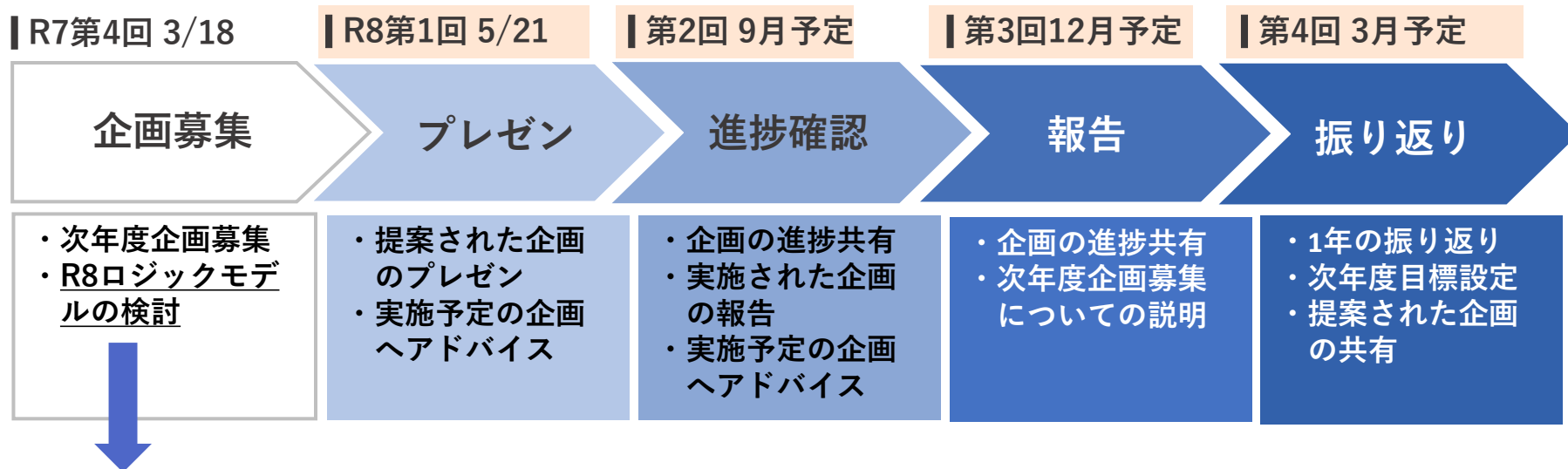
ラコルタ柏事業推進委員会(JSI) ロジックモデル



2 議題(3) 教福連携事業

令和8年度ラコルタ柏事業推進委員会(JSI)の実施内容

事業推進委員会の開催スケジュール



市民委員からの意見

【誰もが集える】

- ・現在は単発イベントに集中していると思う。イベント時だけでなく、毎日行けば何かがある、定常的に人が集まれる「居場所」としての空間づくりが重要ではないか。
- ・堅苦しい公共施設のイメージを脱却できるとよい。

【みんながつながる】

- ・顔の見える関係作りのために、マッチング体験会等の繋がりたい人に繋げる仕組みづくりがあるとよい。
- ・館内の活動団体が、どのような活動をしているかを見える化（ウェブや冊子）するとよい。

【地域へ広がる】

- ・ラコルタ柏に来られない層にもラコルタを楽しめる仕組みがあるとよい。
- ・大阪府吹田市にも「ラコルタ」(市民公益活動センター)があると聞いた。同じ名称同士で何かできると面白い。

2 議題(3) 教福連携事業

5月21日令和8年度第1回
事業推進委員会(JSI) & 交流会



ラコルタ柏事業推進委員会(JSI) 委員提案企画

	タイトル	概要	ロジックモデル (短期アウトカム)	実施時期
①	本×キュレーションの可能性part2	「選書キュレーション」という考え方を応用して、本が持つ可能性を可視化する。ラコルタ柏のオープンスペースに旬のテーマ設定による本を中心とした情報滞在型空間・期間をつくる。今回のテーマは「家族」。	・共通の関心のある方々が横につながるテーマ型コミュニティの形成	11/8～11/15 ※最終日はラコルタ柏フェスティバルで展示、トークイベントも開催予定
②	実践型アートマネジメント講座	何かを表現するということは難しいことではない。具体化する方法と、共に創る仲間と、実現させる場所と出会う講座。演劇創作を体験しながら、劇場の使用例や借り方、発表に至るまでの過程を学ぶ。	・共通の話題や関心を持つ人が定期的に集まれる場の創設 ・つながりたい人とつながる人を増やすマッチングシステムの構築 ・参加者が自ら新しい企画を立ち上げられる支援体制の構築	2027年1月～2月(予定)
③	地図にないスナックNESTY	公共イベントや福祉イベントへの参加のハードルを下げることをねらいとし、スナックという非日常でカジュアルな切り口から、「であい、かたりあい、ききあう」をテーマに、誰もが気軽に集いつながることができる場をつくり交流の機会とする。	・共通の話題や関心を持つ人が定期的に集まれる場の創設 ・活動を共有できるオープンイベントの定期開催 ・目的がなくても安心して来館する人が増える ・共通の関心のある方々が横につながるテーマ型コミュニティの形成	8/28(金) 18:00～20:00
④	「コーヒー×居場所」ボランティア講座	属性を超えた共通項としての「居場所」づくりをねらいとしたボランティア講座を開催し、講座で学んだ人が館内外でカフェボランティアとして活動できるよう支援する。	・目的がなくても安心して来館する人が増える ・つながりたい人とつながる人を増やすマッチングシステムの構築 ・地域や他の公共施設との連携プログラムの実施	11月～12月(予定)
⑤	ラコルタ柏PR大作戦	ラコルタ柏のコンセプト実現のために、多くの方にラコルタを知ってもらえるような情報発信を推進する。	・目的がなくても安心して来館する人が増える ・地域や他の公共施設との連携プログラムの実施	随時
⑥	～映画がつなぐ、地域と福祉～「フジヤマコットントン」柏上映会	映画「フジヤマコットントン」を通して、障がいのある方の生き方や地域とのつながりについて理解を深め、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつなげる。	・活動を共有できるオープンイベントの定期開催 ・共通の関心のある方々が横につながるテーマ型コミュニティの形成 ・類似の活動団体同士が横につながるネットワークづくり	12月(予定) ※障害理解イベント内で実施予定

事務連絡

次回の予定

令和8年度	第1回	第2回
日時／会場	令和8年8月17日（月） 14:00～16:00 ラコルタ柏4階集会室	令和9年2月1日（月） 14:00～16:00 ラコルタ柏4階集会室
議題（案）	・令和8年度事業計画及び実施状況 ・教福連携事業について	・令和8年度実施状況 ・令和9年度事業計画（案） ・教福連携事業について

参考

ラコルタ柏 貸室の稼働率※令和8年6月末現在

部屋別稼働率（館全体）			
月	令和6年度	令和7年度	令和8年度
4	49%	52%	54%
5	48%	52%	39%
6	54%	53%	44%
7	56%	53%	—
8	50%	50%	—
9	55%	51%	—
10	61%	55%	—
11	59%	61%	—
12	52%	53%	—
1	53%	56%	—
2	60%	57%	—
3	51%	53%	—
平均	53%	54%	42%

部屋別稼働率（上位・下位）			
総合福祉センター			
部屋名	稼働率	定員	利用料
多目的研修室	35%	61人	780円
講座室	34%	25人	530円
活動室	30%	18人	420円
中央公民館			
部屋名	稼働率	定員	利用料
音楽室	93%	80人	470円
会議室5A	65%	25人	370円
}			
茶室	16%	17人	370円
料理実習室	9%	25人	780円